

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年10月31日

東

上場会社名 イチカワ株式会社 上場取引所
 コード番号 3513 URL <http://www.ik-felt.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牛尾 雅孝
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山崎 敦 (TEL) 03-3816-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,515	11.2	330	51.1	564	62.6	450	66.5
2022年3月期第2四半期	5,859	0.4	218	914.4	346	171.4	270	91.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 494百万円(90.0%) 2022年3月期第2四半期 260百万円(76.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	98.46	—
2022年3月期第2四半期	59.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	26,050	19,123	73.3
2022年3月期	25,732	18,768	72.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,103百万円 2022年3月期 18,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	5.2	600	13.0	1,000	31.9	700	33.6	152.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 () 、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	4,967,151株	2022年3月期	4,967,151株
2023年3月期2Q	389,011株	2022年3月期	388,995株
2023年3月期2Q	4,578,148株	2022年3月期2Q	4,576,720株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに持ち直しているものの、原油価格高騰などエネルギー価格の高止まり、それに伴う原材料価格の高騰、及び日米金利差拡大による円安ドル高の進行など、一進一退を繰り返す状況となっております。

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、国内につきましては板紙及び衛生用紙等の需要は横ばいで推移しておりますが、新聞用紙及び印刷情報用紙の需要は、新型コロナウイルス禍以前の水準までは回復に至らず減少傾向が続いております。海外につきましては、通販市場の拡大に伴う板紙及び衛生用紙の需要が旺盛な中国・アジア地域に期待があるものの、新聞用紙及び印刷情報用紙は国内と同様に需要の減少傾向が続くと見込まれるなど、不安定な状況が継続しております。これを受け、当社は世界的な紙の需要減を見込み、抄紙用フェルトのコスト競争力を強化するべく生産体制の最適化を図ってまいりました。また、品質面では衛生用紙向けベルトが世界的に評価され、拡販につなげるべく積極的な受注活動を行ってまいりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、為替相場の急激な円安により海外売上高が増加し、連結売上高は6,515百万円（前年同期比11.2%増）となりました。損益の状況につきましては、売上高増加の一方で、原材料価格やエネルギー価格高騰による売上原価の増加、海上輸送の混乱や原油価格高騰による運送コストの増加により、連結営業利益は330百万円（前年同期比51.1%増）、為替差益を計上したことにより、連結経常利益は564百万円（前年同期比62.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は450百万円（前年同期比66.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

<抄紙用具関連事業>

(日本)

内需につきましては、厳しい市場環境が続く中、懸命な受注活動を推進したことにより、抄紙用フェルトの販売数量は増加いたしました。また、輸出につきましては、中国国内の一部顧客との商流を当社直販に変更したため抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。これに加え為替影響により、売上高は4,146百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(北米)

新型コロナウイルス感染症の影響による一部顧客の生産調整の一巡及び板紙向けの需要増により抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。これに加え為替影響により、売上高は912百万円（前年同期比54.5%増）となりました。

(欧州)

新型コロナウイルス対策に伴う販売製品の選択と集中を行ったため抄紙用フェルトの販売数量が減少いたしました。抄紙用ベルトは衛生用紙向けに受注活動を推進したことで販売数量が増加いたしました。これに加え為替影響により、売上高は952百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(中国)

中国国内の一部顧客との商流を当社直販に変更したため抄紙用フェルトの販売数量が減少いたしました。抄紙用ベルトは一部顧客の操業低下により販売数量が減少いたしました。この結果、売上高は84百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

(タイ)

抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトは横ばいで推移しました。一方為替影響により、売上高は146百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

<工業用事業>

需要拡大が期待されている高温成型用の耐熱緩衝材の販売数量が増加いたしました。この結果、売上高は273百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ317百万円増加し、26,050百万円となりました。これは主として現金及び預金が433百万円、原材料及び貯蔵品が150百万円増加した一方、有形固定資産が314百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、6,927百万円となりました。これは主として未払金が93百万円増加した一方、繰延税金負債が134百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ354百万円増加し、19,123百万円となりました。これは主として利益剰余金が310百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ431百万円増加し、4,867百万円（前年度末比9.7%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益564百万円の計上、非資金費用である減価償却費501百万円の計上、法人税等の支払による支出205百万円等により597百万円の収入（前年同期比181百万円の収入減）となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出111百万円などにより114百万円の支出（前年同期比147百万円の支出減）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出139百万円などにより172百万円の支出（前年同期比17百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月28日に公表いたしました2023年3月期通期の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,452,114	4,886,021
受取手形及び売掛金	4,413,203	4,687,170
商品及び製品	1,504,472	1,583,530
仕掛品	1,131,879	1,041,760
原材料及び貯蔵品	597,461	747,936
その他	117,126	112,317
貸倒引当金	△2,582	△2,680
流動資産合計	12,213,675	13,056,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,296,210	4,114,064
機械装置及び運搬具（純額）	3,020,415	2,790,462
リース資産（純額）	81,229	66,342
その他（純額）	2,257,876	2,369,979
有形固定資産合計	9,655,732	9,340,849
無形固定資産	88,085	67,068
投資その他の資産		
投資有価証券	3,699,995	3,509,038
繰延税金資産	31,854	33,842
その他	97,001	97,094
貸倒引当金	△53,518	△53,518
投資その他の資産合計	3,775,332	3,586,456
固定資産合計	13,519,150	12,994,374
資産合計	25,732,826	26,050,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,826	453,964
短期借入金	860,000	860,000
リース債務	61,575	54,325
未払法人税等	269,738	236,076
賞与引当金	405,902	418,547
役員賞与引当金	20,000	—
その他	925,772	1,017,658
流動負債合計	2,919,815	3,040,573
固定負債		
リース債務	57,498	39,499
繰延税金負債	591,388	456,660
役員株式給付引当金	83,071	97,971
退職給付に係る負債	3,229,558	3,206,017
その他	83,366	86,702
固定負債合計	4,044,882	3,886,850
負債合計	6,964,697	6,927,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,594,803	3,594,803
資本剰余金	2,333,201	2,333,201
利益剰余金	12,040,180	12,350,573
自己株式	△647,760	△647,782
株主資本合計	17,320,425	17,630,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329,592	1,190,758
為替換算調整勘定	88,579	275,238
退職給付に係る調整累計額	12,978	6,452
その他の包括利益累計額合計	1,431,150	1,472,449
非支配株主持分	16,552	19,760
純資産合計	18,768,128	19,123,006
負債純資産合計	25,732,826	26,050,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,859,880	6,515,134
売上原価	3,694,405	3,907,259
売上総利益	2,165,475	2,607,874
販売費及び一般管理費	1,946,741	2,277,320
営業利益	218,734	330,553
営業外収益		
受取利息	254	244
受取配当金	48,689	56,416
為替差益	—	132,489
雇用調整助成金	74,844	16,523
その他	48,844	57,848
営業外収益合計	172,632	263,523
営業外費用		
支払利息	4,219	3,914
為替差損	8,425	—
賃貸費用	6,648	7,094
訴訟関連費用	5,536	4,207
その他	19,562	14,842
営業外費用合計	44,392	30,059
経常利益	346,974	564,017
特別利益		
投資有価証券売却益	1,350	—
特別利益合計	1,350	—
税金等調整前四半期純利益	348,324	564,017
法人税、住民税及び事業税	115,763	196,273
法人税等調整額	△38,454	△83,424
法人税等合計	77,308	112,849
四半期純利益	271,015	451,168
非支配株主に帰属する四半期純利益	336	394
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,679	450,773

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	271,015	451,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,120	△138,833
為替換算調整勘定	10,765	189,096
退職給付に係る調整額	△4,164	△6,525
その他の包括利益合計	△10,520	43,737
四半期包括利益	260,495	494,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,220	492,073
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,724	2,832

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	348,324	564,017
減価償却費	494,119	501,650
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△486	98
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,350	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,636	12,645
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	△20,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,364	△23,540
受取利息及び受取配当金	△48,943	△56,661
雇用調整助成金	△74,844	△16,523
支払利息	4,219	3,914
売上債権の増減額 (△は増加)	28,226	△175,708
棚卸資産の増減額 (△は増加)	27,224	△46,041
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,671	△39,819
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	10,885	14,900
その他	△16,013	14,833
小計	766,690	733,764
利息及び配当金の受取額	51,478	56,661
雇用調整助成金の受取額	74,844	16,523
利息の支払額	△4,219	△3,910
法人税等の支払額	△110,422	△205,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	778,371	597,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△258,105	△111,353
投資有価証券の売却による収入	1,575	—
その他	△4,835	△2,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,366	△114,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△49,889	△32,655
自己株式の取得による支出	△151	△22
配当金の支払額	△139,807	△139,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,847	△172,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,419	120,739
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	340,576	431,450
現金及び現金同等物の期首残高	3,614,894	4,435,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,955,470	4,867,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	抄紙用具関連事業					工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,830,157	590,210	796,891	263,629	118,915	260,077	5,859,880	—	5,859,880
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,204,390	—	—	148,011	12,171	5,633	1,370,206	△1,370,206	—
計	5,034,547	590,210	796,891	411,640	131,087	265,710	7,230,087	△1,370,206	5,859,880
セグメント利益	756,795	8,158	37,230	36,497	16,311	40,086	895,081	△676,347	218,734

(注) 1 セグメント利益の調整額△676,347千円には、セグメント間消去△5,560千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△711,834千円、棚卸資産の調整額18,768千円、為替レート差額18,856千円、貸倒引当金の修正等3,423千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
2,827,858	456,298	689,145	919,061	967,515	5,859,880

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2	
	抄紙用具関連事業					工業用 事業			計
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,146,146	912,063	952,270	84,934	146,080	273,639	6,515,134	—	
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,412,337	—	—	169,904	24,985	7,409	1,614,636	△1,614,636	
計	5,558,483	912,063	952,270	254,838	171,066	281,048	8,129,770	△1,614,636	
セグメント利益	924,364	64,697	62,676	23,099	27,578	32,864	1,135,281	△804,727	

(注) 1 セグメント利益の調整額△804,727千円には、セグメント間消去8,197千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823,545千円、棚卸資産の調整額△87,417千円、為替レート差額97,961千円、貸倒引当金の修正等76千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
2,914,983	737,785	806,936	790,785	1,264,644	6,515,134

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。